

信州大学ランドスケープ・プランニング共同研究講座について

ランドスケープ・プランニングとは…

地域が持つ自然及び環境の潜在力や土地機能などの諸要素を分析しつつ、都市空間、造園空間、建築群、街並みなどについて、総合的で魅力的な空間のデザインにより、計画・設計・提案を行うもの。

1 共同研究講座の概要

(1) 開設時期 令和5年4月（～5年間（予定））

(2) 専攻・課程・定員

総合理工学研究科農学専攻（修士課程（2年））／入学定員3名

〔学生の選考〕

信州大学農学部が学生募集を行い、11月に講座で学ぶ学生3名を選考

(3) 教員体制 専任教員2名

〔特任教授〕

長岡造形大学（造形学部建築・環境デザイン学科長）の小川総一郎教授を招聘

【プロフィール】

1980 武蔵野美術大学建築学科卒

1983 ペンシルバニア大学芸術大学院ランドスケープ・アーキテクチャ終了

1984 清水建設株式会社設計部入社

2004 土木学会賞環境賞受賞

2017 長岡造形大学建築・環境デザイン学科准教授/教授/学科長

〔助教〕 募集中

(4) 講座内容

世界に通用する一流のランドスケープ・アーキテクトを目指すために、実習系、演習系、修士制作を学ぶ

〔予定科目〕

・ランドスケープ・プランニング 概論、ランドスケープ・プランニング 特別演習Ⅰ・Ⅱ

・信州ランドスケープ 特論、ランドスケープ・プランニング 特別実験実習

・特別研究 ほかに

(5) 開設場所 エス・バードC棟3階

2 支援の概要

信州大学ランドスケープ・プランニング共同研究講座コンソーシアム（R3.12.9 設立）

(1) 組織概要

会長：綿半ホールディングス株式会社 代表取締役社長 野原勇氏

会員：会員数は46の企業、団体及び個人（R5.1.1 現在）

建設業関係 7 造園業関係 7 設計事務所 5 その他企業 14

金融機関 4 経済団体 3 行政関係 4 個人 2

(2) 令和4年度事業計画

期 日	内 容
R4. 6. 9	令和4年度コンソーシアム総会 令和4年度は、以下の事業に取り組む ① コンソーシアムへの加入の促進 ② 企業版ふるさと納税による寄附の依頼 ③ 令和5年度講座開設に向けた準備の支援 ④ 共同研究講座の情報提供及び情報共有（講演会・シンポジウムほか） ⑤ 共同研究講座の設置に関する契約の締結

(3) 令和4年度収支予算

①収入

		予算額	備 考 (単位:円)
分担金及び負担金	負担金	13,000,000	南信州広域連合負担金(基金繰出分)
		5,000,000	南信州広域連合負担金(直接負担分)
合 計		18,000,000	

②支出

		予算額	備 考 (単位:円)
分担金及び負担金	負担金	13,000,000	信州大学への負担金
繰越金	繰越金	5,000,000	翌年度繰越金
合 計		18,000,000	

3 共同研究講座の運営経費について

(1) 必要経費 117,840千円 (準備期間1年+講座開設5年)

【年度別内訳】

(単位:千円)

	R4 (準備)	R5 (1年目)	R6 (2年目)	R7 (3年目)	R8 (4年目)	R9 (5年目)	合計
人件費(教授、助教各1人)、講座研究費、事務費等)	13,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	108,000
学生支援		1,380	2,460	2,460	2,460	1,080	9,840
合 計	13,000	20,380	21,460	21,460	21,460	20,080	117,840
寄付依頼額	42,000	42,000	33,840	—	—	—	117,840

(2) 運営経費の確保状況について

- ・寄付申出額が必要経費総額の約75%に達している。
- ・企業版ふるさと納税制度を活用(寄付金額は10万円以上)
- ・寄附の流れ 飯田下伊那14市町村へ寄附 → 南信州広域連合へ集約(基金条例)
→共同研究講座コンソーシアムへ → 信州大学へ納付